

2019年度(令和元年度)学校評価自己評価表

鳳 中学校区	校番 36	福山市立伊勢丘小学校
最終更新日		2020年(令和2年)2月20日

I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	思考力・表現力
<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒や学校の様子は、しっかり情報発信されているが、さらに多くの方へ届くよう工夫してほしい。 下級生からあこがれをもたれる児童・生徒の育成を図り、自己肯定感を高めてほしい。 町づくりの視点から、地域や保護者とのつながりをさらに強めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現する力について、「書くこと」は高まっているが、「話すこと」に課題がある。 学校生活における基本的な生活習慣は、大半の児童・生徒が身に付いている。 体力づくりについて、課題を焦点化し継続的に取り組むことで、課題を克服している。 	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考え学び、意欲的に表現し、豊かに生きることができる児童・生徒 主体的に学びに向かっている。 他者の考えを尊重しつつ、自らの意見を主張できる。 資料の読み取り、分析を根拠に考えを構成できる。 各教科記述式(活用)ができる。
		中学校区として統一した取組等	明確な根拠を持って、話す・書くといった表現する力を育てる。

III 自校

ミッション	子どものひとり立ちを支援する学校			
学校教育目標	自ら学び人間性豊かな子を育てる ～あこがれのリーダーいっぱい学校～			
現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	思考力・表現力	コミュニケーション能力	他者と協力して問題を解決する力
<p><児童生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査において、国語A・算数A・算数B・理科で、CRTにおいては、1・2・4・5・6年で全国平均を2ポイント以上上回った。協同学習の取組では「授業がわかる」とする児童の肯定的評価が92%になった。 「あこがれのリーダー」を育てる取組では、自尊感情に関わる児童アンケートの肯定的評価は84%であった。「互いのよさを認め学ぶことができた」児童は、88%であった。 握力や走力を高める取組では、新体力テストで全国平均値を上回る学年について、握力100%、シャトルラン100%であった。新体力テストで73%の項目が全国平均値を上回った。 <p><授業></p> <ul style="list-style-type: none"> つなぎ発言への肯定的評価を行い、振り返りの指導を行ったことで、84%の児童が友達の考えにつなげて発言できた。 積極的に協同学習を取り入れ、全員挙手を徹底したことで、89%の児童が自分の考えを進んで伝えることができた。 振り返りの視点を焦点化し、よい振り返りを紹介したことで、振り返りの内容が充実し、学びを深めることができた。 前の学習や友達の考えと比較したり関連付けたりして見通しを持たせ、全員挙手や自発的な算数トークを目指す取り組みはまだ不十分である。児童自身が自分の学びを自覚できるように授業を展開できるようにする必要がある。 	1 2 年	友達の考えと自分の考えを比べて考え、表現することができる。	つなぎ発言(言い換え・付け加え)をし、相手意識を持って話し合うことができる。	質問や教え合いができる。
	3 4 年	根拠を明らかにして自分の考えとの共通点や相違点を考え、表現することができる。	つなぎ発言(質問・関連付け)をし、考えの足りないところを補足したり、改善したりできないか話し合うことができる。	友達と協同し、質問や教え合いができる。
	5 6 年	根拠をあきらかにして共通点や相違点を検討し、整理・分析・統合等して考え、表現することができる。	つなぎ発言(変容・発見・まとめ・発展)をし、よりよい解決を話し合い見出すことができる。	主体的に他者と協同し、質問や教え合いができる。
研究	教科等	算数科 外国語活動		
	主題・内容等	自分の思いや考えを生き生きと表現できる子どもの育成 ～協同学習における学び合いを通して～		
めざす授業の姿	協同学習を通して、互いに考えをつなぎ、深め合う授業			

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立伊勢丘学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)					
							□指標に係る取組状況	70%以上達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況	70%以上達成評価	総合評価	改善方策		
1	主体的、対話的で深い学びの実現による思考力・表現力の育成	★	継続	○協同学習における学び合いを通し、児童の学びを中心に据えた授業づくりを実現する。 【総合評価指標】 ・「授業で考えることが面白い」という児童90%以上	○学びづくり案を作成・改善・活用し、協同学習を効果的に設定する。	○児童アンケートの児童の肯定的評価の平均70%以上 [アンケート内容] ①友達の話聞いて考えの共通点や相違点を見つけることができた。 ②友達考えにつなげて、詳しくしたり分かりやすしたりすることができた。 ③もっとやってみようことを考えることができた。	□協同学習を効果的に取り入れ、「全員が分かる」ことを目指して話し合いを進めたことで、目標を達成することができた。しかし、友達考えを自分の言葉で説明したり、自分の考えを深めたりすることに課題がある。教師が繰り返し説明するようにしていく必要がある。	3	3	○児童が課題と出会う場面を工夫することで、児童が意欲的に学習できるようにしていく。また、児童の説明を教師が繰り返すのではなく、他の児童の言葉でもう一度説明させることで、深い学びにつなげる。 ○学びづくり案を各学期に1つ以上作成し、児童の主体的な学びに生かしていく。その中で、児童と共に学習の進め方を決め、児童が見通しを持って学習できるようにする。授業においては、教師が教える部分と児童が考える部分、評価や他教科のつながりに関して学びづくり案に明記していく。	□児童同士が関わり合ったり、話を聴いたりなど集団が育ってきたため、目標を達成することができた。また、児童と共に学習計画を立て授業を進めたことで、見通しを持って主体的に取り組むことができた。	4	4	4	○学びづくり案を活用し、週1回の学年会で教材研究をすることで、研修を日常化することで、学びを見取り、適切な働きかけができるようになる。
					○学び合いに関する目標を設定し、自己の学びの変容について振り返りで自己評価を行う。	○「授業の始めと終わりで学びが深まった」という児童90%以上	□自己の学びの変容を自覚するための振り返りの時間の確保が難しかった。また、「学びが深まった」について、理解できていない児童がいる。	3	3	○振り返りを書くことで、学習内容について考えをまとめたり、自己の学びの変容を自覚したりすることができた。しかし、できていることを自覚できない児童や求めるレベルが上がっている児童もいるので、教師が価値づけを行う必要もある。 ○学びの深まりを教師と児	3	3	3	○学びづくり案に振り返りを明記し、話し合いや単元全体の学び、自己の変容など多様な振り返りができるようにする。	

学年	共通点や相違点を見つけられた	意見をもちた	肯定的な評価の平均
1年	91	83	90
2年	86	82	84
3年	84	75	83
4年	79	56	89
5年	80	73	81
6年	85	70	91
特支	75	82	77
全体	84	74	86

学年	共通点や相違点を見つけられた	意見をもちた	肯定的な評価の平均
1年	90	89	97
2年	92	88	87
3年	91	65	87
4年	82	56	90
5年	88	78	89
6年	89	73	85
特支	80	72	87
全体	87	74	88

						<table border="1"> <tr><td>6年</td><td>89%</td></tr> <tr><td>特支</td><td>77%</td></tr> <tr><td>全体</td><td>87%</td></tr> </table>	6年	89%	特支	77%	全体	87%		<p>りしていく。 ○児童自身が「学びの深まり」について考える時間を設定し、教師と児童が学びの深まりについて共通認識できるようにする。</p>	<p>童で共通認識し、振り返りで考えさせたことで、自己の学びの変容を考えることができるようになった。協同学習においても振り返りをしていく必要がある。</p> <table border="1"> <tr><td>1年</td><td>91%</td></tr> <tr><td>2年</td><td>89%</td></tr> <tr><td>3年</td><td>88%</td></tr> <tr><td>4年</td><td>77%</td></tr> <tr><td>5年</td><td>83%</td></tr> <tr><td>6年</td><td>91%</td></tr> <tr><td>特支</td><td>77%</td></tr> <tr><td>全体</td><td>85%</td></tr> </table>	1年	91%	2年	89%	3年	88%	4年	77%	5年	83%	6年	91%	特支	77%	全体	85%																																																			
6年	89%																																																																																	
特支	77%																																																																																	
全体	87%																																																																																	
1年	91%																																																																																	
2年	89%																																																																																	
3年	88%																																																																																	
4年	77%																																																																																	
5年	83%																																																																																	
6年	91%																																																																																	
特支	77%																																																																																	
全体	85%																																																																																	
				<p>○学期末テスト結果 1・2年：国・算 85点以上 3～6年国・算・理 80点以上</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>学年</th><th>国語(読み)</th><th>国語(漢字)</th><th>算数</th><th>理科</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>84</td><td>92</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2年</td><td>90</td><td>93</td><td>89</td><td></td></tr> <tr><td>3年</td><td>77</td><td>95</td><td>86</td><td>91</td></tr> <tr><td>4年</td><td>84</td><td>87</td><td>76</td><td>87</td></tr> <tr><td>5年</td><td>79</td><td>86</td><td>86</td><td>89</td></tr> <tr><td>6年</td><td>89</td><td>84</td><td>90</td><td>87</td></tr> </tbody> </table> <p>□漢字・理科では、全ての学年で目標を達成することができた。国語の読みでは、要旨をまとめる問題・課題がある。今後、授業で文章の要点を読み取り、要旨をまとめて書く指導をいっしょに行う必要がある。</p>	学年	国語(読み)	国語(漢字)	算数	理科	1年	84	92			2年	90	93	89		3年	77	95	86	91	4年	84	87	76	87	5年	79	86	86	89	6年	89	84	90	87	3	3	<p>○記録文や説明文の単元では、筆者の伝えたいことを一言でまとめたり、自分が書いた文章を読み返し簡潔な文章で書いたりする指導を行う。</p> <p>○授業や家庭学習で辞書を活用することにより、言葉の意味を正しく理解し、語彙を増やすようにする。</p> <p>○正答率が低かった問題においては、授業で、解き直しの時間を確保し、確実に解くことができるようにする。</p>	<table border="1"> <thead> <tr><th>学年</th><th>国語(読み)</th><th>国語(漢字)</th><th>算数</th><th>理科</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>90</td><td>90</td><td>91</td><td></td></tr> <tr><td>2年</td><td>90</td><td>93</td><td>89</td><td></td></tr> <tr><td>3年</td><td>83</td><td>96</td><td>85</td><td>86</td></tr> <tr><td>4年</td><td>85</td><td>94</td><td>78</td><td>83</td></tr> <tr><td>5年</td><td>74</td><td>89</td><td>86</td><td>90</td></tr> <tr><td>6年</td><td>88</td><td>84</td><td>81</td><td>88</td></tr> </tbody> </table> <p>□漢字・理科では、全ての学年で目標を達成することができた。</p>	学年	国語(読み)	国語(漢字)	算数	理科	1年	90	90	91		2年	90	93	89		3年	83	96	85	86	4年	85	94	78	83	5年	74	89	86	90	6年	88	84	81	88	3	4	4	<p>○説明文では、事実と筆者の主張を読み取り、問われていることについて、不足を補いながら正しく書くことを指導する。</p> <p>○正答率が低かった問題について、引き続き、解き直しの時間を確保する。</p>
学年	国語(読み)	国語(漢字)	算数	理科																																																																														
1年	84	92																																																																																
2年	90	93	89																																																																															
3年	77	95	86	91																																																																														
4年	84	87	76	87																																																																														
5年	79	86	86	89																																																																														
6年	89	84	90	87																																																																														
学年	国語(読み)	国語(漢字)	算数	理科																																																																														
1年	90	90	91																																																																															
2年	90	93	89																																																																															
3年	83	96	85	86																																																																														
4年	85	94	78	83																																																																														
5年	74	89	86	90																																																																														
6年	88	84	81	88																																																																														
3	<p>あこがれのリーダー(スーパーリーダー)を目指し、互いの良さを認め、学び合う児童の育成</p>	★ 継続	<p>○行事や縦割り活動等を通して、児童の自己肯定感を高める。</p> <p>【総合評価指標】 ・自尊感情に関わる児童アンケート(「自分の考えは、認められている。」を含む。)</p>	<p>○毎学期、あいさつ月間を設定し、あいさつつけ等、相手意識をもったあいさつにつながる取組を行う</p>	<p>○児童アンケート「あいさつができた」の肯定的評価85%以上</p>	<p>□児童会を中心に週2回のあいさつ運動を行い、良いあいさつができた児童を放送したり、合言葉を考えたりし、意欲を持たせた。</p> <p>□児童アンケート「あいさつができた」の肯定的評価は91%であったが、地域の方や学校</p>	3	3	<p>○2学期初めにあいさつがよくできていた学級を表彰する。</p> <p>○児童の考えたあいさつ「いせがおか」の合言葉を掲示し、児童会を中心にあいさつ運動を続ける。</p> <p>○「担任外、お客さん</p>	<p>□1学期の取組を引き続き継続し、あいさつ「いせがおか」の掲示や児童会によるプレゼンにより、児童に意欲を持たせた。</p> <p>□児童アンケート「あいさつができた」の肯定的評価は92%であったが、地域の方や学</p>	4	4	4	<p>○児童会を中心に「あいさつの意味」を考えさせ、積極的に取り組ませる。</p> <p>○職員がモデルとなり、あいさつをして</p>																																																																				

	<p>の肯定的評価 80%以上</p>	<p>う。</p>		<p>への訪問者へのあいさつに課題が見られた。</p> <table border="1" data-bbox="952 164 1137 408"> <tr><td>1年</td><td>91%</td></tr> <tr><td>2年</td><td>94%</td></tr> <tr><td>3年</td><td>91%</td></tr> <tr><td>4年</td><td>92%</td></tr> <tr><td>5年</td><td>90%</td></tr> <tr><td>6年</td><td>88%</td></tr> <tr><td>特支</td><td>92%</td></tr> <tr><td>全体</td><td>91%</td></tr> </table>	1年	91%	2年	94%	3年	91%	4年	92%	5年	90%	6年	88%	特支	92%	全体	91%		<p>に対してあいさつができたか」の評価を行っていく。</p>	<p>校への訪問者へのあいさつに課題が見られる。</p> <table border="1" data-bbox="1624 196 1809 440"> <tr><td>1年</td><td>96%</td></tr> <tr><td>2年</td><td>90%</td></tr> <tr><td>3年</td><td>95%</td></tr> <tr><td>4年</td><td>93%</td></tr> <tr><td>5年</td><td>90%</td></tr> <tr><td>6年</td><td>88%</td></tr> <tr><td>特支</td><td>93%</td></tr> <tr><td>全体</td><td>92%</td></tr> </table> <p>◎自尊感情に関わる児童アンケートの肯定的評価は85%であった。</p>	1年	96%	2年	90%	3年	95%	4年	93%	5年	90%	6年	88%	特支	93%	全体	92%	<p>いく。</p> <p>○児童のがんばりを学校等で知らせていく</p>
1年	91%																																							
2年	94%																																							
3年	91%																																							
4年	92%																																							
5年	90%																																							
6年	88%																																							
特支	92%																																							
全体	91%																																							
1年	96%																																							
2年	90%																																							
3年	95%																																							
4年	93%																																							
5年	90%																																							
6年	88%																																							
特支	93%																																							
全体	92%																																							
		<p>○縦割り班掃除において、よりきれいにするために頑張っている児童の姿を振り返りで相互評価し、意識を高めていく。</p>	<p>○縦割り班そうじの掃除表彰児童95%以上</p>	<p>□掃除表彰児童は、全校で92%であったが、掃除時間や無言掃除の徹底に課題が見られた。教職員への周知・児童への指導を行っていく。</p> <table border="1" data-bbox="952 775 1120 1042"> <tr><th>学年</th><th>1学期</th></tr> <tr><td>1年</td><td>94%</td></tr> <tr><td>2年</td><td>93%</td></tr> <tr><td>3年</td><td>96%</td></tr> <tr><td>4年</td><td>95%</td></tr> <tr><td>5年</td><td>99%</td></tr> <tr><td>6年</td><td>97%</td></tr> <tr><td>全体</td><td>95%</td></tr> </table>	学年	1学期	1年	94%	2年	93%	3年	96%	4年	95%	5年	99%	6年	97%	全体	95%	<p>2 2</p> <p>○掃除の指導の仕方、25分まで必ずそうじを行い、その後振り返りをするなどを教員に周知する。</p> <p>○美化委員会を中心に、正しい掃除の仕方を児童朝会で発表し、全校に伝えていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そうきんの絞り方 ・ほうきの使い方 ・時間いっぱい ・トイレ掃除 	<p>□掃除表彰児童は、全校で93%であった。美化委員会が「正しいそうじの仕方」の発表をすることができたが、無言掃除やすみずみまで掃除をするなど、掃除の質に課題が見られた。</p> <table border="1" data-bbox="1624 839 1792 1106"> <tr><th>学年</th><th>2学期</th></tr> <tr><td>1年</td><td>96%</td></tr> <tr><td>2年</td><td>85%</td></tr> <tr><td>3年</td><td>91%</td></tr> <tr><td>4年</td><td>95%</td></tr> <tr><td>5年</td><td>95%</td></tr> <tr><td>6年</td><td>96%</td></tr> <tr><td>全体</td><td>93%</td></tr> </table>	学年	2学期	1年	96%	2年	85%	3年	91%	4年	95%	5年	95%	6年	96%	全体	93%	<p>3 3 3</p> <p>○掃除表彰された児童の多い学級を評価する。</p>	
学年	1学期																																							
1年	94%																																							
2年	93%																																							
3年	96%																																							
4年	95%																																							
5年	99%																																							
6年	97%																																							
全体	95%																																							
学年	2学期																																							
1年	96%																																							
2年	85%																																							
3年	91%																																							
4年	95%																																							
5年	95%																																							
6年	96%																																							
全体	93%																																							
		<p>○「あこがれ作文」や「にっこりたまてばこ」の取組により、職員は6年児童全員のよさを評価する。</p>	<p>○「あこがれのリーダーとしての役割が果たせた」と振り返る児童90%以上</p>	<p>□1学期中に、6年生99人中48人(全体の48%)を放送で紹介することができた。</p> <p>□児童アンケート「あこがれのリーダーとしての役割が果たせた」の肯定的評価が94%であった。</p>	<p>3 4</p> <p>○「あこがれ作文」「にっこり玉手箱」の取組を継続し、6年生児童の自己存在感を高めていく。</p> <p>○他学年児童には、6年児童の良さを「あこがれ作文」に記入させ、リーダーへのあこがれを持たせる。</p>	<p>□2学期中に、6年生99人中78人(全体の78%)を放送で紹介することができた。</p> <p>□児童アンケート「あこがれのリーダーとしての役割が果たせた」の肯定的評価が91%であった。</p>	<p>3 3 4</p> <p>○今までの「あこがれ作文」を6年生に渡し、自己存在感を高めていく。</p> <p>○他学年との交流の場を増やし、1学年上の児童</p>																																	

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。